学級活動（人権）学習指導案

１　主　　題　　認め合い支え合う仲間づくり

２　主題設定の理由（省略）

３　ねらい

いじめはかけがえのない命までも奪う，重大な人権侵害であることを認識させ，互いを認め支え合い，いじめに立ち向かう学級集団をめざして自ら行動しようとする意欲と実践力を育てる。

４　指導計画

いじめって何？（学級活動）　２時間
「いじめについて考えよう」,「大切なことは」
・いじめを取り巻く人間関係やその構造を理解させる。
・人にされて嫌なことは人それぞれ違う場合があり，それらは全ていじめにつながることを意識し，互いの違いを認め合う人間関係を築こうとする意識を高める。

勇気について考える
（学級活動）１時間
「ちっぽけな勇気」
・自分に必要な勇気について考え，それを実践していく気持ちを育てる。

自分自身を磨く（道徳）　１時間
「自分以下を求める心」（わたしの願い）
・自分自身を見つめ直し，自分自身にとって人間としてすばらしい生き方とはどのようなものかを考えさせる。

「障がい者スポーツ
『ボッチャ』人権教室」
（総合的な学習の時間）
１時間
・ボッチャ体験を通して人権について考える。

いじめについて考える「いじめをノックアウト」（ＮＨＫ）
（学級活動）２時間
「その“いじり”，大丈夫？」
「“いじめたい気持ち”ってどこから？」
・ＤＶＤを視聴し，身近なことからいじめは発生することを知り，身の回りのいじめの発生防止とその発生を見抜く力を養う。

出会う・つながるプログラム
鳴門教育大学との連携
（学級活動・朝活動）月１回
「足し算トーキング」
「自己表現個人ワーク」
・自尊感情の育成とよりよい人関係づくりをめざす。

いじめの現状（学級活動）　２時間
「どうして？」（兵庫県人権教育資料「きらめき」）
「“空気”よめと言われても…」「LINE で炎上！どう止める？」
・身近に起こりうるネットトラブルを通して，課題解決に主体的に取り組もうとする態度を育てる。

松中夢いっぱいプロジェクト
（学級活動）８時間
「ハートフル作戦」（２時間）
「文化祭学年合唱」（６時間）
・学校行事を通して，互いを認め合い，自尊感情を育てる。

いじめについて読んで考える（朝活動）「いじめと君」（（朝日新聞）週１回

仲間と共に生きていく（道徳・学級活動）　４時間
「心やさしい子どもたちへ」（わたしの願い）　（２時間）
「本当に人気者？」（兵庫県人権教育資料「きらめき」）　（２時間）
（本時２／２時間）
・一人一人がかけがえのない大切な存在であることに気付かせる。
・いじめの解決に主体的に取り組もうとする態度を育てる。

これから…（学級活動）
１時間
「わたしの行動宣言」
・いじめの防止，解決のために，自分ができることを宣言し実行する意識をもたせる。

５　本時の学習

（１）目　標

相手の立場に立って物事を考え，いじめを防止し解決するために自分から行動し，望ましい人間関係を築いていこうとする意欲を高める。

（２）普遍的な学習のテーマ　　人権の尊重
　　個別人権題名　　いじめ

（３）展　開

学　習　活　動	指導上の留意点
１　前時の授業内容を振り返る。	○資料を読み，登場人物や資料の内容，考えたことを思い出させる。
２　「ほんまに人気者なんかな。」とつぶやいた「健二」とそれを聞いた「僕」の気持ちを考える。	○「健二」がなぜ「嫌だ。」と言えなかったのかを考えさせ，互いを尊重する関係について考えさせる。 ○一見楽しそうに見える人でも，実は辛い思いをしている人がいる可能性があることを理解させる。　①
３　登場人物を「いじめの４層構造」の図にあてはめる。	○登場人物を「いじめの４層構造」の図に当てはめてみることで，からかいやいじり，それを見ているだけの行動もいじめに該当すると理解させる。　①
４　自分が「僕」のような立場になったとき，どのような行動を取るべきかを考え，発表する。	○理由も発表させることで友達の意見をしっかり受け止めさせる。　③ ○傍観者から仲裁者へとなるために，周りの友達の行為について正しく判断させ，いじめを防止し，望ましい人間関係を築いていこうとする意欲を高める。　②

（４）評　価

・からかいやいじりなどがいじめにつながることに気付き，それらを見逃さないことがいじめを防止し解決につながることを理解できたか。　（知識的側面）①

・いじめを防止し解決するために自分から行動し，望ましい人間関係を築いていこうとする意欲を高めることができたか。　（価値的・態度的側面）②

・自分の考えを表現するとともに，級友の意見をしっかりと聞くことができたか。　（技能的側面）③